

## 行財政経営に関する調査特別委員会 事業検証（素案）への対応

### 【事業検証全般に対する総論】

意見	<p>人口減少時代に宝塚もいよいよ入ります。少子高齢化がますます顕著になり、まちの元気・活性化上の課題もあり、市税が減少する時代になります。固定資産税についても、人口減少により評価が下がり、減額することが想定されます。</p> <p>歳出は、焼却炉の建替えや市立病院の建替え、さらに学校の建替え及び公共施設の老朽化、雨漏りの現実で見られますように、維持管理費用の増加も避けられない状況であり、道路・インフラの整備費増加も、その一方で、超高齢化により、関連する事業費の増大がますます顕著になることは明瞭です。</p> <p>そのような時代を踏まえ、宝塚市の将来、未来を見通す場合は、行財政改革を市民にも丁寧に説明し、理解を得て進めることが不可欠です。</p> <p>ただ、その為には、職員の意識改革をしないと、今の意識、困難なことは避ける、今の自分の立場だけ守るといった、事勿れ主義では行革はできません。</p> <p>ただ、こども施策全般の充実、宝塚を若者にとり住みたいまちにするためにも、思い切った充実が必要です。ましてや伊丹市や川西市へ若者世代が動く傾向があり、今日においてはより一層必要です。特に子ども医療費助成制度については、高校生まで無料化をすることが求められます。</p> <p>さらに、命の問題、命を脅かす事業については、コロナ禍でもあり、感染症の怖さを痛感した今日、少なくとも施策の見直しは避けるべきです。</p> <p>尚、技術発展や時代の変化により、必要性が少ない、他でも可能な施策、FM事業については、まず宝塚市関係の提供番組をなくする方向での見直しをすることが必要と考えます。</p> <p>その他、経費をできる限り抑える等の措置は、他の事業においても不可欠であります。具体的には、一番に精通している担当部署が、期限も持って見直しを進めることが必要です。</p> <p>以上</p>
----	---

## 行財政経営に関する調査特別委員会 事業検証（素案）への対応

### 【事業検証全般に対する総論】

意見	<p>ほとんどの事業の方向性が「手法、内容の見直し」であり、「変革」や「新たな価値の共創」といった行財政経営方針の掲げる理念が十分に反映できたのか見えにくいように感じる。</p> <p>全体を通じて感じたのは「市長の考えが見えない」ということ。トップがしっかり方向性を示さなければ、担当部署も思い切った判断はできなかったのだろうと感じられた。</p> <p>いくつかの事業で取組効果額を予定しているものもあったが、その合計額が本市の経営基盤を安定させるだけの効果が得られるほどのものではない。</p> <p>事業検証のみで財政の安定化・基盤強化を図るものではないことは理解するが、これだけの時間と労力を費やして得られた成果としては物足りないのではないか。</p> <p>事業検証で得られた成果は何だったのか。取組効果額だけでないのであれば、何が今後本市を運営するにあたり活かしていくことができるものとして得られたのかを説明できるようにしておかなければならない。</p> <p>また、「宝塚市行財政経営行動計画」においては取組ごとの改善見込額を示していなかったと思うが、今回の事業検証の結果も踏まえても市民からすれば宝塚市が「どんな考えで、どんな工夫をして、どの部分で、どれだけ改善があった」のかが非常に分かりにくい状態となっている。</p> <p>「行財政経営方針」「行財政経営行動計画」「事業検証」などの取り組みの関係性や実績を総合的・俯瞰的に説明できる必要があると考える。</p> <p>そして何よりもまずは市長が宝塚市をどんな市にしたいと考えているのかを明確にしなければ特色あるまちづくりはできないことは当然として、現状からの変革にも期待しようがないので、その方向性を示すべきである。</p>
----	---

## 行財政経営に関する調査特別委員会 事業検証（素案）への対応

### 【事業検証全般に対する総論】

意見	<p>方向性として縮小・廃止が打ち出されたものが少なすぎる。縮小・廃止の方向性が打ち出された事業は、いずれも反対運動が起きにくそうなものが選ばれている。勇気ある決断が必要ではないか。</p>
----	---

## 行財政経営に関する調査特別委員会 事業検証（素案）への対応

### 【事業検証全般に対する総論】

意見	補助金など支援事業（事業の在り方の是非は意見が分かれるところだと）と事業自体の仕組みや組み立てを変えることなどを議論する事業とに分けて検証を行うことから始めるというのはいかがでしょうか。
----	---